

観光



宇佐神宮やグリーンツーリズムをはじめ、素晴らしい観光資源を持つ宇佐市。それぞれの立場から観光に携わる活動を展開している4人が、観光業のプロのアドバイスを受けながら、宇佐市らしい新たな観光の形について意見を交わした。目指すは市民を巻き込んだ、市民が誇れるまちづくり。

市民巻き込み、誇れるまちに

資源豊富だがバラバラ

山本 観光という観点から、将来的に宇佐市がどんなまちになればいいと思いますか。

五所 宇佐はいろんなものがあって、すごく恵まれてると思うんです。でも結局まとまりがないんです。地域だけでも宇佐市四日市、長洲、駅川、安心院、院内などがある、バラバラで統一感がない。それが一つになればどこに出しても自慢できるまちづくりができと思っています。



若手リーダー
四日市商店街振興組合青年部会長(五所生花店)
五所一弘 さん

植田 観光で宇佐に来るお客さんとグリーンツーリズム(GT)で安心院に来るお客さんはちょっと違います。GTで来るお客さんは、行った先の農家の人との会話が楽しかったとか、「またあのの人に会いたい」と思って来る人が多い。もっと地元の人を前面に出して、この人に会いに行きたい」と思われるまちづくりを目指したいと思っています。

椎野 宇佐市の今後について、いい意味で田舎らしさが残るようなまちがいいと思うんです。地域の人々が心豊かであるということが一番だと思います。

江河 外から帰ってきた人に対して少し閉鎖的になっているところがあるので、そういう壁を少しずつ壊していけばいいと思います。観光には人が常に関わってきます。人が人をつないで、人がものをつないで、人がその人たちの心をつなげて、そのことによって人がまちを変えていくんだと思います。

山本 宇佐にはいろいろあるということですが、例えばどんなものがありますか。

五所 宇佐三大祭りは人が呼べますね。僕が結婚式をしたとき、東京から友達を呼んでどこに

連れて行こうかというときに、宇佐神宮しか思い付きませんでした。いろいろあるんですが、全てがパンチ力に欠けているように思います。

すべてプラスに作用

山本 なぜ他のところが浮き上がってこないでしょう。

椎野 宇佐に住んでいる人から良さに気付かないというところがあります。

山本 村岡さんは外から見たときの宇佐をどういうふうに見ていますか。

村岡 いいところがたくさんあるのは間違いない。要はそれをいかに磨き上げて表に出していくか、皆さんが力を合わせてやるかどうかです。

山本 まとまりがないという話ですが、そこをクリアしていく方策はありますか。

村岡 皆さん、形は違えど思いは一緒だと思うんです。そもそも宇佐で観光がどれだけ理解されているでしょうか。何のために観光をやるか、その目的についてどう考えますか。

椎野 市の業務の目的としては「外貨を稼ぐこと」が第一。個人的には、観光は全ての産業に関わる唯一の事業だと思っています。交流人口を増やすことでまちに活力が出るとか、まちを人が歩くので防犯面が良くなるとか、「観光客が来るからきれいにしよう」と市民の心が変わってまち並みが良くなるとか、全てにいいことをもたらしが観光だと思っています。

五所 その目的を理解している市民は少ないでしょう。椎野さんが言ったことをみんなが認識していけば、素晴らしい宇佐になっていくと思います。

江河 あらゆる人やものに関わって、そこから観光の目的を見いだしていくというふうに進んで

いけたらと思います。そういう人たちが集まって意見交換できる場所づくりも必要です。

植田 GTはもともと衰退する農業を何とかしようという目的で始まりましたが、今では、GTのお客さんだった人が安心院に住んで農業を始めた、お嫁さんに来たりといったことが何組も起こっています。

村岡 観光の最終目的はそこに住んでもらうことなのかなと思います。観光はそのための手段。それを定義することから始めましょう。

地元へのPRも大事

山本 皆さんそれぞれ目的に向かって観光の活動していますが、その中で難しいと感じることはありますか。

五所 いろいろやっても結局人が集まらないというのが一番の悩み。まずは「こういうお祭りがあるから、何時間かかっても宇佐に行きたいな」と思ってもらうために外部発信していかなければいけないと思います。

椎野 実は宇佐市には、豊後高田市の「昭和の町」の数十倍の観光客が来ています。でも、宇佐神宮とアフリカンサファリに行く人がほとんどで、市民が恩恵を受けた観光客と交流したりということがないから実感がない。観光客の数と市民の実感を一緒にして、メディアに新しいことを売り出していくことが大切です。

五所 テレビと新聞は大事。この前、地域のお寺で合コンのイベントをしたときもテレビ局が来てくれてだいぶ認識されました。

植田 15年前に安心院のGTが立ち上がったときは、地元の人たちも「それって何かえ」という世界だったんですけど、新聞社やテレビ局にファクスで情報を入れ続けて、時には直接記者にも



若手リーダー
安心院町グリーンツーリズム研究会事務局長
植田淳子 さん

電話して、そうやって宣伝してもらったので世の中に認知されました。中にいる者としては常に外に情報を発信し続けていくことが大事だと思います。

村岡 地元の人を知ってもらうのも大事じゃないですか。

植田 修学旅行生も、農家だけで過ごさせるんじゃないくて、お風呂は町内の温泉に連れて行くとか、お土産は町内の店で買ってもらうとか、夕食は町内のレストランを使うとか、そうやって安心院全体でうまくお客さんが回っていくような仕組みを考えました。

お見合いツアー面白い！

五所 それを四日市商店街でやっても、商売人の悪いところで「うちだけもうかればいい」となって結局自己満足で終わっちゃう。まずは自分の地域をまとめて、目的を認識してもらって、うまく外部に発信していかなければいけませんね。

山本 地元の人に関わりを求めていくときはどうしたらいいでしょう。

江河 すごく難しいですね。でも、そういう考えの人たちがだんだん増えて、地域リーダーとして若い人たちがどんどん上がつっていったらいいと思います。まずは人と関わることを、人を知ることです。

五所 今の高校生や20代前半の人たちと話をすると、みんな人と関わるのが嫌だと言います。**江河** その人たちに先の展開を切り開いてあげられるのが私たちの年代。私たちがどんどん彼らと人に関わる場に連れ出していくことが大事なんだと思います。

村岡 宇佐市じゃない人たちの接点を持つればもっと楽しいでしょうね。最近、お見合いツ



若手リーダー
宇佐市観光協会事業推進リーダー
江河真喜子 さん

アーというのがありますが、そうやってお購立をしてあげるのもいいと思います。同じような取り組みをしている自治体とカップリングをやった面白い。

江河 長崎の人たちとの間で交流の話が進んでいます。私たちが向こうのまちを知るのもいい刺激になると思います。

村岡 これは立派な観光。「宇佐の人たちってこんなに面白かったよ」というのが口コミでどんどん広がっていくのもばかにはできません。今の感覚を持った若い人たちをどんどん巻き込んでいくための手段も観光だと思っています。

GTに商業体験入れて

山本 若い人たちへのアプローチが大切になると思いますが、現状はどうですか。

椎野 若い世代は地域づくりの場になかなか出てこない。彼らがどんどん中に入っていくとずいぶん他の展開もあると思うんですが。

山本 そうするとこの先、受け入れ側に若い人がいなくなっちゃうんじゃないですか。

椎野 宇佐市にはすごい技術を持った人がたくさんいます。それをGTで来た修学旅行生が学んで帰るんじゃないくて、まずは地元の宇佐の子どもたちに学んでほしいと思います。

山本 学ぶことによって地元の人を知ることになりますね。

植田 地元の子どもを受け入れるのは安心院GTにとっても大事なことです。3年前に長洲小学校の5年生40人ぐらいいを受け入れましたが、同じ宇佐市でもやっぱり海と山とで違うところがあったし、その時の子どもたちと安心院のお母さんたちの間でいい関係が築いています。行って話して料理して泊まって、という体験はすごく大きいと思います。

村岡 住民は意外と隣町のことを知らない。まずは隣町のことを知って、お互いの良さをうまくつないでいきましょう。宇佐市はGTという、よそから観光客が来る大きな武器を持っています。まずはGTのお客さんをうまく回避させることを考えるべきです。

植田 つなぐ人がいないというのは大きいんです。安心院のGTでは今年の6月に初めて、旧宇佐市内で漁業体験をするというメニューが実現しました。2005年に新宇佐市になってから考えてきたことですが、実現するまでがすごく長かったです。

五所 四日市は商業のまちなので、GTのメニューに商業体験も入れたいと思います。振興組合の青年部は今年の12月から来年2月まで、商店街の商店で小学生に体験をしてもらい取り組みをします。

コースを選ぶように

村岡 安心院はGTの老舗ですが、やはり競争は厳しい。先日、安心院町GT研究会の宮田静一会長とお会いしましたが、近郊の別府とセットでやりたいというお話もありました。それをまずやるべきはこの地元です。素材はあるんですから。

椎野 昨年、宇佐市での滞在時間を増やそう、GTを体験する人の裾野を広げようということで、半日でできる農業体験や料理体験を紹介する「体験型観光」のパンフレットを作りました。

村岡 子どもたちを受け入れる場合は何かあったときの補償の問題も考えなければいけません。本腰を入れてやるかどうか、関係者の意思

確認が必要ですよ。体験の素材が多くてどれにするかはいいか迷うので、来た人が「私にはこれが向いている」と分かるような見せ方も大事だと思います。

江河 逆に考えれば、宇佐市の持っている本物の魅力がそれだけあるということですね。

椎野 今後は、旅館などでチェックインする所に体験型観光のカードを置いて、お客さんが気楽に選べるようにしたいと思っています。

村岡 ぜひ商品化を目指してください。ビジネスにすれば関わっている方の本気度も上がります。焼酎やワインのマイボトルを作って持つて帰るとか、学生さんが10年後に来たときに飲めるようにするとか、痕跡を残せるものを作るというですね。GTで来る高校生は将来の貴重な潜在リピーターです。

短・中・長期に分け計画を

山本 宇佐には宿泊施設が少ないというイメージがありますが、観光は宇佐単体で完結したいものなんではないでしょうか。

江河 そうじゃなくていいんじゃないでしょうか。まずは宇佐市での滞在時間を増やす方法を考えて、その間に宿泊施設を改善していけば。宿泊場所は近隣でもいいし、県外に広げていいと思います。地元視点ではなくカスタマー視点で考えるように切り替えていくことが大切で、メディアを通してお客さまが現にいるものを大事にしたいですね。

村岡 要はいかに計画立ててやるかです。行政や部外者も入れて、短期、中期、長期でやることを明確に分けて、それを貫つていけばいいと思います。行政や部外者も入れて、短期、中期、長期でやることを明確に分けて、それを貫つていけばいいと思います。

椎野 市民に分かってもらうの一番時間がかかるという課題もあります。外の人に発信することより中の人に理解してもらうことの方がすごく大変です。

五所 若者がいい意味でばかをしなから、ばかをみながらやっていかないと宇佐って伸びないんじゃないでしょうか。宇佐の未来を明るくしたいと思う人間が1人2人3人と賛同してくれて、将来的に一つになって宇佐を変えていけたらなと思います。

江河 失敗してもいいから、やることをどんどんやっていいと思うんです。地元の人に理解してもらえないなら、人を使えばいいと思います。その人は知らないけど、あの人に言えばその人も賛同してくれるというふうにして、人を使って人を動かして、地域で人を巻き込んで、その輪をどんどん広げていけばいいと思います。

「住みよいまち」も目的

植田 宇佐の良さを知るとい意味でも、やっぱり休みが1日2日じゃ足りないと思うんです。GTでもずっと言っているんですが、長期で休みが取れるようなバカンス法が日本で制定されたら、観光というのも、実際に回避していくということも現実的になるのかなと思うんです。

椎野 ある映画が宇佐市で撮影されたんですが、「ロケ地に選ばれた」ということで、若い子たちは地元で誇りを持ったと思います。最終的にはやっぱり宇佐市民が、「ここはよそから来ている所だと思ってもらえる所なんだ」と実感できるような観光を進めることが大切だと思います。

村岡 観光の目的の一つは住みやすいまちづくり。住んでいて気持ちよければ、観光で来た人も気持ちいい。そこが地元の理解を得る一番のポイントかもしれません。

手のひらに、明日をのせて。

NTT docomo

ドコモの超高速通信！対応タブレット登場



ドコモ タブレット

GALAXY Tab 10.1 LTE

- 10.1インチの大画面なのにスリムで軽量
- 快適な操作が可能1.5GHzデュアルコアCPU搭載
- 7000mAh大容量バッテリー搭載



ドコモ タブレット

ARROWS Tab LTE

- お風呂やキッチンで使える*1 防水*2 (IPX5/IPX7)対応
- 画面に触れずに操作できる「ハンドジェスチャーコントロール」機能搭載
- ドコモ タブレット初のワンセグ対応

大分の一部市街地から
順次
Xiサービスエリア
拡大中!

※Xi対応エリアについての詳細はドコモのホームページでご確認ください。

Xiスタートキャンペーン
実施中! 2012年4月30日まで

※iモードには対応しておりません。※spモードでiモードのメールアドレスが使用できます。※音声通話およびデジタル通信(テレビ電話、64Kデータ通信)はご利用になれません。【GALAXY Tab 10.1 LTE のご注意】※ドコモUIMカードをご利用ください。FOMAカード(白・緑・青)ではご利用できません。※バッテリーの取り外しはできません。(バッテリーの交換は有料となります)。【ARROWS Tab LTEのご注意】※バッテリーの取り外しはできません。(バッテリーの交換は有料となります)。※ドコモminiUIMカードでのみご利用になれます。ドコモUIMカード(FOMAカード)ではご利用になれません。なお、ドコモminiUIMカードは、対応機種以外ではご利用にならないほか、ドコモUIMカードからのご変更の場合は、ご利用のサイトやデータなどの一部がご利用できなくなる場合があります。【※1 ARROWS Tab LTEのお風呂での利用について】本機はメーカー独自の試験基準に基づき高湿度条件下(浴室など)で利用できることを確認しておりますが、次の点に注意しご利用ください。※せっけんやシャンプー、入浴剤の入った水など水道水以外のものをかけたり、水道水以外のものに浸けたりしないてください。それらが付着してしまった場合、直ちに常温の水道水で洗い流してください。※湯船(温水)に浸けたり、落下させたりしないでください。誤って落下させてしまった場合は、直ちに取出ししてください。※湿気の多い場所に長時間放置しないでください。ご使用後は、浴室から取り出しておいてください。※温水のシャワーを直接かけないでください。※サウナでは本機を利用しないでください。※寒い屋外から暖かい浴室などに急に本機を持ち込まず、一度室内に置いて本体が温まってから持ち込んでください。【※2 ARROWS Tab LTEの防水について】※防水性能IPX5/7に対応。※ご使用の際はキャップが確実に閉まっているかご確認ください。※防水性能を維持する為、異常の有無にかかわらず2年に1回部品の交換が必要となります(有料)。詳しくは「ドコモのホームページ」でご確認ください。

【お問い合わせ】ドコモの携帯電話からは局番なしの151(無料)／一般電話などからは ☎0120-800-000 ☎番号をよくお確かめのうえ、おかけください。 ☎一部のIP電話からは接続できない場合があります。

マナーもいっしょに
携帯しましょう。

株式会社 NTTドコモ